

第60回 多摩めぐり

2026
3/31(火)多摩を深める 宇宙桜(そらざくら)の咲く
都立桜ヶ丘公園を巡る

旧多摩聖蹟記念館



遊びの広場



対鷗台公園 (対鷗荘跡)

大正14年(1925)に開設した関戸駅(せきどえき)は、昭和12年(1937)に聖蹟桜ヶ丘駅(せいせきさくらがおかえき)と改称します。この駅名の由来は、「天皇が行幸した地」を意味する聖蹟と、桜の名所であった連光寺の向ノ岡の組み合わせによるものです。

都立桜ヶ丘公園は、桜の名所として知られていた連光寺に昭和59年(1984)に開園しました。公園内には、ヤマザクラ、ソメイヨシノ等、約400本のサクラがあり、春先には多くの人を楽しませています。その園内には5種類の宇宙桜が、植樹されています。

平成20年(2008)スペースシャトル「エンデバー号」に載せられた日本各地の桜の種は、国際宇宙ステーションにある日本の実験棟「きぼう」にて、約8ヵ月半に渡り宇宙を旅しました。平成21年(2009)に地球に帰ってきた種は、各地に戻り、蒔かれました。その種のごく一部が発芽し成長した桜が「宇宙桜」と呼ばれています。

多摩市の花「山桜」を守り育て、「桜のまち、多摩市」を目指す多摩商工会議所が立ち上げた「多摩桜プロジェクト」の熱意により分けていただいた貴重な宇宙桜が、都立桜ヶ丘公園に植樹されました。

園内のお花見を楽しみながら、「聖蹟」と「桜ヶ丘」の歴史も辿ってみたいと思います。



都立桜ヶ丘公園お花見坂



ゆうひの丘・醍醐桜(宇宙桜)



小野小町歌碑(対鷗台公園)

◆主なコース◆

京王線聖蹟桜ヶ丘駅 → <バス> → 東部団地バス停 → 都立桜ヶ丘公園<ひょうたん桜・高桑星桜 → お花見坂 → 稚木(わかき)の桜 → 旧多摩聖蹟記念館 → 拓魂碑 → ゆうひの丘・醍醐桜(昼食) → 遊びの広場 → 三春滝桜 → 対鷗台公園(対鷗荘跡、小野小町歌碑、御駒桜碑など) → 新大栗橋バス停(解散 バスで聖蹟桜ヶ丘駅へ) ※歩行距離約5.3km アップダウンあり、歩きやすい靴をお願いします

- *集合日時 2026年3月31日(火) 9時45分
(10時5分のバスに乗車) ※小雨決行、解散予定14時15分頃
- *集合場所 京王線 聖蹟桜ヶ丘駅 西口改札外
- *ガイド 永江 幸江
- *費用 参加費1,200円(資料代・傷害保険料 等を含む)
別途バス代 行き240円、帰り200円
- *募集人員 30名(先着順)
- *持ち物 弁当・飲み物・筆記用具・雨具・レジャーシート他
- *申込方法 氏名・年齢・住所・電話番号を明記し、Eメールで「多摩めぐりの会」事務局へ
- *申込と問い合わせ 「多摩めぐりの会」事務局 Eメールアドレス⇒ tama.meguri@gmail.com
- *当日の連絡先 090-7286-2124(味藤・みとう)

申込締切 3月24日(火)

予告 4月25日(土)に第61回多摩めぐり「詩人が暮らした秋津とアニメ作家がアイデアを練った淵の森緑地を訪ねる」を予定